

# 令和5年度 第1回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 令和5年5月17日（水）16:20～17:15

場 所 学校法人 ほっかいどう学院 くしろせんもん学校 3階 第7講義室

出席委員 北構 和代（釧路市私立保育園連合会 副会長、昭和どんぐりの家保育園 園長）  
山本 綾子（釧路聖母幼稚園 園長、釧路市私立幼稚園連合会理事・会計）  
戸田 竜也（北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授）  
小野 信一（日本福祉教育・ボランティア学習学会）  
高橋 健一（北海道介護福祉士会釧路支部 支部長、  
道東勤医協 老人保健施設ケアコートひまわり介護長）  
高橋 功成（社会福祉法人釧路愛育協会 常務理事、養護老人ホーム長生園 園長、  
特別養護老人ホーム武佐の里 園長、釧路地区老人福祉施設協議会 副会長）  
住尾 盛（釧路市PTA連合会 顧問、昭和中央2丁目町内会 会長）

出席職員 杉村 典史（くしろせんもん学校 校長）  
武藤 篤訓（くしろせんもん学校 副校長）  
氏原 陽子（くしろせんもん学校 こども環境科 学科長）  
赤神 正倫（くしろせんもん学校 こども環境科 教員）  
伊東 利恵（くしろせんもん学校 介護環境科 教員）  
長谷 由香（くしろせんもん学校 介護環境科 教員）  
若生 みゆき（くしろせんもん学校 事務主任）

配付資料 ①レジュメ（委員名簿）  
②令和4年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録  
③令和4年度 学校関係者評価の結果  
④その他資料 教育課程編成委員会レジュメ参照

1. 開会（司会：氏原）
2. 開会にあたって
  - (1) 挨拶および経過報告（杉村）
  - (2) 今年度の委員と学校職員の紹介
  - (3) 司会者の決定（高橋功成委員選出）
3. 次第（司会：高橋功成委員）
  - (1) 令和4年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録の確認
  - (2) 令和4年度の学校関係者評価結果について
    - ①報告（学校から）
    - ②報告に対する質疑応答および意見交換
    - ③委員の皆様による学校関係者評価についての意見交換

## 小野委員から意見

防災の項目について、近隣地域で5階建てはありがたいのでは？防災の拠点や情報発信源になることも検討しては。防災士として何か関わることができれば声を掛けてもらいたい。

SDG's視点での学びも行ってはどうか。学校が地域・社会貢献している学校だというアピールもしていくと良いと思う。SDG'sを理解した学生を育てて行くと、就職先でも喜ばれるのではないかな。

## 学校側回答（氏原）

授業ではジェンダー平等や、SDG'sについて触れている。

#### 高橋健一委員から意見

介護の実習先を選択する場面で、施設がアピール（プレゼン）できる場所はないだろうか。実習指導者の集まりでも「実習を受け入れたい」という声がある。

学生募集について、社会人で福祉の仕事に興味のある人などに向けてアピールすることも検討していくと良い。

#### 学校側回答（長谷）

今年度、お声がけ頂いた施設がある。「実習指導」の授業の中で、現場の声や実習内容の具体的な話をきかせてもらえたらありがたいと思う。学生の安心感にもつながる。ただ、実習へ向かう交通手段等の兼ね合いもあり、検討させて頂ければと思う。

#### （校長）

社会人に向けた高等技術専門学院からの委託事業は、ホームページや新聞広告等でアピールしているが課題もある。ただ、枠が決まっているので、出願者全員が入学できるわけではない。

#### 戸田委員から質問

枠を拡大してもらえる要素はあるのか？

#### 学校側回答（校長）

北海道が割り当てするため、学校としてできることはない。

#### 戸田委員から意見

地域として希望者がいるのであれば、枠の増加を希望したいところ。自治体や業界関係者も一丸となってアピールしていきたい。保育ならびに介護の有資格者を増やし、地域で働いて欲しい。色々な人が協働して声を上げていくべきだと考える。

#### 高橋功成委員から意見

関係機関や行政も巻き込みながら、くしろせんもん学校を存続させていきたい考えに共感できた。入学生減少は、財政安定にも関わる。行政への相談やアクションは必要。クラウドファンディングで建物の修繕などを行っている例もある。

#### 北構委員から意見

少子化での学生減少は、学校だけの責任ではない。保育園存続にも影響すると考える。

学納金は妥当なものなのか。また、資格取得費用は授業料の中に含まれているのか。

#### 学校側回答（校長）

資格登録料や申請料は授業料の中には含まれていない。

#### 山本委員から意見・質問

保育士・幼稚園教諭養成校が地域に2校あることが当然のように思っていたが、そうではないことを知った。実習を途中で断念してしまう学生について、事前に情報をもらっていると、メンタルの部分で配慮できることがあり、職員間でも事前に話し合いができた。

フレンド修学資金制度は強みだと思うので、PRしていることが色々な部分に浸透していくと良い。

リカレント講座は、卒業生個々に案内を出しているのか？

#### 学校側回答（氏原）

クラスLINEで案内を出したことがある。教員に会いたいという理由で参加してくれた卒業生もいる。

#### 住尾委員から意見・質問

主に財務的な問題点が多かったように感じた。

資格取得後すぐには関連分野への就職をせず、時間が経って資格を活かして働こうとした場合、職場復帰のための学び直しの機会（短期間での学習等）はあるのか？

#### 学校側回答（氏原）

現在はない。必要性は感じている。

#### 住尾委員から質問

業界側が受講料等支援する仕組みなど作れないものだろうか？

#### 高橋功成委員から意見・質問

自身所属の法人で言うと、研修等の受講料は法人負担しており、奨学金制度としては検討の余地がある。賛同できる法人は多々あるように思う。

#### 戸田委員から意見

潜在保育士も学びの場は欲しいと思う。

#### 小野委員から意見

人材確保について、防災や権利擁護の関係で各社会福祉法人に協力頂いた。釧路市でも連携法人の必要がある。

#### 高橋功成委員から意見

くしろせんもん学校があってよかったと思っている法人はたくさんある。

#### 小野委員から意見

学校創立55周年記念事業を提案。発起委員会など協力できることがあれば。

#### 学校側回答（校長）

課題はたくさんあるが、教職員力を合わせてきたい。

#### 4. 閉会（司会：氏原）

##### （1）挨拶（校長）

以上  
（記録：若生）